

# 平成 31(2019)年度 事業計画書

自 平成 31 年 4 月 1 日  
至 平成 32 年 3 月 31 日

公益財団法人 九州盲導犬協会

平成 31(2019)年度 事業計画書  
(平成 31 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日)

視覚障がい者の自立及び社会参加を促進するため、盲導犬の育成及び普及啓発等に関する次の事業を実施する。

1. 盲導犬育成事業

(1) 視覚障がい者に対する歩行指導及び盲導犬貸与

今年度の盲導犬育成目標を8頭とし、視覚障がい者へ盲導犬を貸与する。

(2) 盲導犬ユーザーに対するフォローアップ（F U）

貸与後1年以内F Uの充実、定期F U、問題F U等により、ユーザーの歩行の安全確保のため適切なフォローアップを行い、問題の発生を未然に防ぎユーザーの生活をサポートする。

(3) 犬の飼育および訓練

①繁殖

計画的な繁殖・出産により子犬目標30頭を確保する。また AGBN（Asia Guide Dogs Breeding Network）加盟協会との繁殖協力の維持と発展に努める。

②パピーウォーキング

30頭の子犬をパピーウォーカーに飼育委託し、飼育講習会及び巡回指導等を通して、子犬の健康管理とパピーウォーカーに対する飼育指導を実施する。

③候補犬の訓練

犬の稟性評価・健康評価を適正に行い、候補犬の訓練を実施する。

④盲導犬の健康管理

フォローアップおよび盲導犬7歳時検診などを通して盲導犬の健康状態の把握に努め、ユーザーが安心して盲導犬を使用できるよう健康管理の指導ならびに助言を行う。

⑤繁殖犬・リタイア犬等のケア

飼育ボランティアおよび獣医師と連携しながら、それぞれの犬の健康管理に努める。

⑥犬舎管理

犬舎担当職員・訓練士が連携して、犬舎の衛生管理および訓練犬の健康管理を行う。

(4) 盲導犬歩行指導員等の育成

①盲導犬訓練士の育成

研修生2名に対し、全国盲導犬施設連合会（以下「連合会」という。）盲導犬訓練士資格試験が受験できるレベルへの引き上げを図る。

②盲導犬歩行指導員の育成

連合会が実施する盲導犬歩行指導員資格認定試験に1名推薦できるよう指導育成する。

- ③知識・技術の向上を目的に、盲導犬ジャパンセミナー及び各種研修会に職員を派遣するとともに、自己研鑽を奨励する。

## 2. 普及啓発事業

視覚障がいと盲導犬について、多くの市民に正しい理解を得ることを目的とした普及啓発活動を推進する。

### (1) 総合訓練センターにおける啓発活動

- ①一般見学会を毎月1回行う（12月は除く）ほか団体見学を積極的に受け入れ、一般社会に対して盲導犬および補助犬法について正しい情報・知識を提供する。
- ②短期間の盲導犬宿泊体験希望者を募集し、体験歩行会を行うなど盲導犬の普及啓発に努める。

### (2) 盲導犬普及啓発街頭活動

商業施設・交通事業者・各地区の国際ライオンズクラブ及び地域の団体等が主催する普及啓発イベント及び募金活動に積極的に参加して、補助犬の受入れに対する理解を深める。

### (3) 講演・実演・体験歩行会の実施

行政及びボランティアの協力を得て、小中学校における盲導犬総合学習に講師を派遣して、講演・実演・体験歩行会等を実施、盲導犬と視覚障がいについて、正しい情報・知識を提供する。

### (4) 広報活動

ホームページや協会報（ハーネス九州：年2回発行）等を通して補助犬に関する情報を発信する。

## 3. 関係団体協力事業

- (1) 九州盲導犬友の会ユーザーとの協力及び連携を深め、協会事業の発展を図る。

- (2) 全国盲導犬施設連合会、日本盲人社会福祉施設協議会、県市社会福祉協議会等関係団体と協力し、福祉事業としての一層の発展充実をはかる。

## 4. 相談事業

### (1) 盲導犬事業に関する苦情相談

行政・関連団体と連携を取りながら、盲導犬使用者・ボランティア・一般市民からの相談や苦情に迅速に対応する。

## 5. 管理部門

### (1) 財政基盤の安定

- ①賛助会員への新規加入の働きかけを行うとともに、会員・寄附支援者に協会報等を通して協会事業の理解と継続的支援をお願いする。
- ②盲導犬募金箱の新規設置先の開拓を行うとともに、既設置先へ継続的な支援をお願いする。

### (2) 施設整備計画

- ①糸島市上水道の当協会施設への導水が可能となったので、水の安心・安全のため、井戸水利用から市の上水道利用に給水設備一式を切り替える。
- ②中型の訓練車両を1台増設し、訓練犬の市街地移動訓練に資する。